

自分たちの行動が、地球上の、どこか遠くの人に 影響を与えてしまう事もある。



▶エコリーグで活動をするようになったきっかけはなんですか？

なにかのきっかけがあったというわけではないです。例えば阪神大震災の時、テレビで大学生が被災者の援助している様子を見たり、子供の頃遊んでいた川の環境が悪くなっている様子を目にして、社会問題や環境問題を何とかしたいと思うようになりました。エコリーグには、日本から世界を変えられるネットワークとしての可能性を感じました。口先だけでなく、行動が伴っていて、人としても魅力的で憧れる人が多かったんです。

▶今までやってきたエコリーグの活動で印象的なエピソードはありますか？

途上国の同世代の若者に、先進国のことを恨んでいたと言われた事があります。でも会って話しているうちに、色々やってくれていた事を知って、今はとても感謝していると言われました。人類の抱える共通の課題に対して、人間同士のつながりで解決できる事はたくさんあると感じています。例えば、自分たちの行動が地球上のどこか遠くの人に影響を与えてしまう事を想像できるだけ変わってくると思います。私達は住んでいる地域は違うけれど、地球に生きる仲間として取組む共通の目標があります。学生時代の知り合いは、それぞれの国で色々な立場で仕事をするようになった時にも、お互いを大事な仲間として想い、行動すると思います。そんな人達が増えれば未来を大きく変えていく事も出来ると思っています。最近では、自国にエコリーグの様なユースのネットワークを作りたいという動きも増えてきて、相談されたりすることもあるんです。そんな時、自分達のやってきた事が間違っていないかと思えて嬉しいです。

▶将来やりたいこと、夢、目指していることなどについて教えてください。

みんなにとっての正解になる取組みというのは難しく、すぐには答えが見つからないかもしれないけれど、海外と日本と両方の環境問題を改善したいと思っています。そして、NGOでの活動も、開発、環境とそれぞれ個別に行っている部分があるので、時代や社会の変化に合わせた新しいNGOの形を模索して作っていきたいです。



北橋みどり

高校時代から環境ボランティアをはじめ、大学時代は、環境教育団体の設立やキャンパスでの環境活動、エコ・リーグで事業部長・理事として活動した。休学して北米の環境団体で学び、帰国後にエコ・リーグの国際チームをスタートさせ、アジアを中心とした世界各国の若者と環境協力を行っている。2008年G8サミットNGOフォーラムの環境ユニット事務局や、国際協力NGOセンター（JANIC）で外務省NGO専門調査員なども務めた。趣味は自転車旅行。



- ・エコリーグ <http://portal.eco-2000.net/>
- ・Asia Youth Environment Network
<http://asianyouthenvironmentalnetwork.com/>
- ・Campus Climate Challenge <http://ccc.eco-2000.net/>

日本で行われていることを海外へ、海外のことを日本へ、 それぞれの情報を共有して交流を促進したい

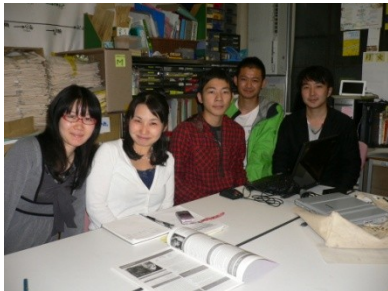


▶エコリーグで活動をするようになったきっかけはなんですか？

大学のサークル選びの時に、はじめて環境サークルというものがあることを知りました。サークルでの活動を通じて、北原さんに出会い、エコリーグを教えてくださいました。エコリーグには、社会全体の事を真剣に考えて、良くしたい、変えていきたいと思っている人達がたくさんいる事が魅力でした。そして、自分もそういう人になりたい、そういうネットワークの一員になりたいと思いました。学内のサークルでやっている事も活かせるし、学内にはない、国際的な視点で活動が出来ると思いました。

▶今までやってきたエコリーグの活動で印象的なエピソードはありますか？

国際会議に参加した時に、日本の取組みに対してのアピール不足を知り、悔しい思いをしました。実際に日本で行われている色々な事が、海外では、知られていないので、なにもしていないと受け止められる事も多いようです。私自身も活動を積み重ねることで、思っている事を堂々と話せるようになりました。最近では、頼りにされるようになって、日本のユース世代の窓口として、橋渡しする役目が求められていると感じるようになりました。それが今の自分にとって、大きなモチベーションになっています。



▶将来やりたいこと、夢、目指していることなどについて教えてください。

やりたいことは3つあります。まず日本で行われている事を海外へ、海外の事を日本へ、それぞれの情報を共有して交流を促進したいと思っています。日本人が、国際舞台で活躍する為には、情報発信する力やディスカッション能力がまだ足りないと感じるので、その力をつけたいです。そのために、海外のニュースや情報を得る事が大切だと思っています。将来は、大学の教員になりたいです。尊敬している先生のように、国際協力の現場と、その現状を知らない市民とをつなげるような役目が出来たらいいと思っています。



青木えり

大学の環境サークル「環境三四郎」に所属。自治体・企業、近隣住民等と連携しつつ幅広い活動に関わり、2006年度には同代表を務めた。その後、エコ・リーグ国際チームに参加し、国際ユース会議運営や参加、派遣補助など、世界各国と日本のユースをつなぐ活動に従事している。他にも、国際NGOのプロジェクトで日本代表としてCOP15等に参加。所属は、東京大学大学院の都市工学専攻で、市民の環境行動に関する研究を行っている。

環境三四郎 <http://www.sanshiro.ne.jp/>

